

碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会 発行

3年5月現在会員数
 逗子地区 170名
 葉山地区 252名
 大船地区 46名
 (合計) 468名

3年5月号(226号)
 発行者 根岸岳萃
 編集者 中村愛岳

碩心会支部別会員数一覧表 平成3年現在
 平成4年現在

逗子地区		葉山地区		大船地区	
逗子地区	56	堀内	87	大船地区	14
逗子地区	10	色色	39	大船地区	8
逗子地区	11	堀内	18	大船地区	7
逗子地区	11	一上	20	大船地区	17
逗子地区	15	星上	7		
逗子地区	12	唐下	5		
逗子地区	29	長	14		
逗子地区	13	詠	11		
逗子地区	12	澄	14		
逗子地区		月	11		
逗子地区		葉	6		
逗子地区			14		
逗子地区			8		
逗子地区			254		
逗子地区	9	支部	13	支部	4
逗子地区	169		254		46
合計	(26)	支部	469		(名)

奥伝合格 (四月一日付)

- 268 奥野寿風 271 鈴木葉風 308 栗山久風
- 309 金子輝風 310 松田美風 311 小峰弘風
- 313 新井瑞風

皆伝合格 (五月一日付)

- 99 一之瀬汀岳 100 角田松岳 101 鈴木濤岳
- 102 重松由岳 104 加藤溪岳 106 板橋雅岳
- 107 高橋桜岳 108 鈴木虎岳 109 行合正岳
- 112 伊藤朗岳

創立55周年記念吟道大会

(第二回) 準備委員会開催

4月27日(土) 午後6時30分より、六代御前社務所に於いて行われ、次の事項が確認された。

一、開催期日

平成4年6月7日(日)

二、開催会場

葉山町福祉文化会館

三、準備委員の構成について

会長・副会長・相談役・常任理事・参事・各副部長と上記以外の指導者と支部長若干名他を追加する。

四、大会予算について

大会積立金の現状と、今後の積立 予想並びに補助金等の収入予想額は、約250万円となる旨の説明があった。

五、分科会毎の話し合い

各係別集まり、前回の実績を参考に、予算案其の他について話し合った。

六、次回準備委員会の日時について

前記追加委員の指名、分掌業務を決定した上通知する。
以上

花・花・花の墓参吟行会

思わず口ずさんだ千曲川旅情の歌

堀内支部 鈴木賢山

7時30分、二台の大型バスは、新緑の中さわやかな風に見送られて出発、八王子インターを過ぎ、山梨県に入れば、車窓から見えるのは一面のピンクの絨毯、桃の花です。「わーきれい」の歓声に、小学校時代の帰り道の途中、髪かざり、首かざりを作って遊んだレングレ鳥を思い出しました。

諏訪湖畔にて昼食をとり、一路地藏寺に着。足元の熊笹をふみながら松林の畔道を登った閑静な所に岳風先生のお墓がありました。我が墓は地藏寺山の見晴し台

風吹くたびに松の吟声

まさにその通りの風景でした。墓前に香華を捧げ、吟魂碑に献花、そして一同献吟し、祖宗並びに諸先生のご冥福を祈念いたしました。墓を下り地藏寺の庭園を拝観、記念館を訪問、岳風先生と松井岳洋先生のご生前の話聞き、その偉大さを痛感致しました。

地藏寺をあとにバスは出発、途中から雨が

降り出し、霧ヶ峰にさしかかった頃、激しい雨と濃い霧に包まれた霧ヶ峰は、その名の通り幻想のようでした。白樺湖を通り、戸倉上山田温泉旅館では、カラオケ等で宴も大いに盛り上がり、部屋では吟友と楽しい話に花が咲き、時の過ぎるのを忘れる夜でした。

翌日は晴天に恵まれ前山寺へ。広い参道の両側には桜や松の大木が、周囲五・六米もある樺の大樹と並んで立ち、見事で厳かでした。又三重塔、本堂をとりまく自然も見事でした。生島足島神社の厄除の北向観音はお堂の右側に桂の大木があり、愛染かつらの主人公になった気分、ちょっと気取って記念撮影です。つづいての懐古園では島崎藤村記念館にて、藤村白筆の「小諸なる古城のほとり」を目のあたりに見、石垣のしだれ桜の美しさ、草笛会の人達の美しいメロディー、高台からは千曲川を見下し、思わず「千曲川旅情」を口ずさんでしまい、長野のよさを満喫致しました。私の心のアルバムページが増え、先生方に厚く御礼申し上げ、一層の精進を心に誓いました。

碩心会の絆

より固く結ばれた吟行会

吟甫支部 大山政風

桜花爛漫、春まさにたけなわ、歓楽霞にのせて世の憂いを掃う。

私達碩心会一行76名を乗せたバス二台は、一路信濃路へと向いました。車窓から見る風景はすばらしく、ガイドさんの説明に右を見左を見ながら、幼い頃の思い出の歌、ナツメ口などを歌い、楽しい雰囲気の中、バスは走り続けました。途中の混雑は予想されていたものの、第一目的地に約二時間遅れて到着、降りる時の姿はチョップリでした。

小雨のばらつく中、地藏寺の見晴台にある岳風先生の墓碑の前で、根岸先生の先導で、いつまでも安らかに、そして末永く私達を見守ってくださいませよう、声高らかに献吟、そしてここまで普及された先生の御恩に報いるためにも頑張らなくちゃと、心新に誓ったものです。墓前で岳風先生の吟道の修行に就いての経過を聞き、目頭に涙を浮べていられた方もあったようでした。時間があればもっとゆっくり記念館を見たかったのですが、予

定時間オーバー、ちょっと残念でした。

千曲館に着きひと風呂浴び、宴会場に馳せ参ずれば、大いに飲み、語り、時間の過ぎるのも忘れる楽しいひとときでした。碩心会の絆はより一層固く結ばれたと思います。

翌14日は天候に恵まれ、日本の伝統美を見る事が出来、先人が如何に努力し築いたのか；努力すれば必ず目標に到達出来るのだという指針を与えてくれたように思えました。北向観音の本堂は善光寺と向かいあい、必ず両方にお詣りするものだと言ひ伝えがある。と聞いたが、善光寺まで足をのばせなくて残念。未完成の塔の入口には「未完成なるが故に老いも若きも可能性をもち存在する也。欠点を論じ見るより塔そのものの全体からその良さを知る」と書かれてありました。これ即ち、我々に共通する言葉ではないでしょうか。無限の可能性を秘めている吟友も練習すればする程上達する。味のある言葉です。旅も終りに近づき、帰路美しい夜景を見ながらカラオケ等で賑わう中、無事に一泊二日の楽しい旅行も終わりました。諸先生に感謝し、始めて参加して学ぶべきこと多々あり、楽しい思い出の二頁が新たに書き加えられました。

思い出の一頁になった初参加の墓参旅行

堀内支部 加藤美風

春酣の4月13日、墓参吟行メンバーを乗せたバス二台は、7時30分返り出発。

土曜日のせいか、多少道路が混んでいましたが、一の宮インターを過ぎた頃から、窓外のピンクの絨毯を敷きつめたような一面の桃花、又黄色のれんぎょうの花など等のすばらしさに、車内は「わーきれい！」の連発。

甲府の街並が見えてきた頃、中村愛岳先生の吟入りで、ガイドさんが武田節を歌ってくれました。又小峰先生が、明治、大正の思い出の歌をプリントしてくださって、みんなで合唱、旅の雰囲気は一層盛り上りました。

諏訪湖の橋を渡った頃から、道の両側の250本のかりんの木が芽吹いていました。休憩所サンシャインパークで昼食をとり、岳風先生菩提寺の地蔵寺につけば、咲き始めた山門の桜が印象的でした。細い急坂を上り、墓前に手を合せ、つづいての献吟で

我が墓は地蔵寺山の見晴し台

風吹くたびに松の吟声

を吟じているうちに、岳風先生が床に臥され

ている様子が頭の中に浮かび、胸があつくなりました。地蔵寺でお焼香を済ませた後、山本岳駿副館長さんの案内で、岳風記念館を見学させていただきました。

記念館をあとにして、今晚の宿泊地戸倉上山田温泉の千曲館へ無事到着。一風呂浴びて七時からの宴会では、芸達者な人達ばかりで時間の経つのも忘れてしまいました。

翌朝は雨も上り、すばらしい天気になりました。安楽寺の八角塔、北向観音、前山寺の三重塔、生島足島神社を参拝、小諸懐古園に到着。お目当ての桜は残念ながら一部咲きでしたが、郷土館の屋上から見ると浅間山はすばらしかった。

車は長野から群馬へ、碓氷峠から見る赤城山、妙義山は雄大なパノラマで、やがて横川近くなってきた頃渋滞がひどく、二時間近くおくれましたが、二日間の旅も無事おわることができました。

この企画を下された村田先生はじめ、役員の方達のお骨折りに本当にありがとうございました。始めて参加した墓参の旅は、私の生涯の思い出の一頁になりました。

平成三年四月十三日

詣 木村岳風祖宗範 墓

宇都宮徳風

●●○○●●●●○ ○○○○●●○○○
 諏訪望台愛宕岩 鶯湖窺見赤松林
 ○○○●●○○○ ●●○○○○●●●○
 登岡来詣碩人墓 偉徳端嚴使止襟

諏訪の望台愛宕の岑
 鶯湖窺き見える赤松の林
 岡に登りて来り詣す碩人の墓
 偉徳端嚴として襟を正さしむ

(註) 鶯湖は諏訪湖の異称

◎ 行事予定

- 碩心会 3年5月5日(祝) 11時より
- 皆伝会 堀内会館
- 県本部 3年5月12日(日) 13時より
- 総会 横須賀勤労会館
- 第二地区 3年6月9日(日) 9・30分より
- 吟道大会 鎌倉中央公民館分館
- 碩心会 3年6月30日(日) 9・30分より
- 温習会 鎌倉中央公民館分館

碩心会長野墓参吟行会会計報告

平成3年4月13日～14日

収入の部	会費 岸会 根指金 利計	長より 様より 子計	2,280,000 5,000 5,000 3,000 2,293,000
支出の部	近畿ツリーリストへ送金 送料 薬品代 読経料 塔婆おみやげ 記念館おみやげ 寸花香 お線コ金通	へ送料 代料 料おみやげ 志代 代おみやげ 代おみやげ へおみやげ お費	2,242,000 412 2,853 20,000 10,000 3,502 5,000 4,800 200 910 2,500 823 2,293,000

以上の通り報告致します
 平成3年4月20日

碩心会 企画部長 村綾松
 " 副部長 田部井
 " 副部長 瀨秋正
 岳岳風

441 駒場咲山 堀内・Gより逗子A支部へ
 (移籍)

(入会)

615 和田みや子 逗子市久木3-15-25

(若葉) 電〇四六八七二一七六二二

616 田中三恵子 葉山町一色七三五一一

(一色A) 電〇四六八七五一一八八六六

(退会)

103 守永寿風 (銀詠) 287伊藤劫風(下山口)

479 沼田愛子 (長柄)

編集後記

5月号より活字が大きくなり、縦20字・横24行となりました。皆様の投稿をお待ちしています。
 今日立春から数えて88日目の八十八夜というのに真冬並みの寒気が南下中とかでセーターを着用。連休というのに夏・冬の衣類の入替え等々、女性は忙しく、その合間をみて編集した5月号です。